

質問回答書

「令和 8 年度 中学生プレクラスカリキュラムの開発及び実施業務委託」

回答日：令和 8 年 1 月 14 日（水）

番号	質問内容	回答
1	・仕様書 3 ページ（2）イ「時間数・回数」について あるクラスに在籍する生徒1人は計5クール（以上）の授業を受講するという認識で合っていますでしょうか。あるいは、1クールごとにクラス替えが実施され、1人の生徒は1クール75コマの授業しか受講しないという認識でしょうか。	1 人の生徒は、1 日5コマの15日間の授業を受講します。
2	・仕様書 3 ページ（2）イ「指導体制」について アシスタントは、報酬が生じる形での指導を想定されているか、ボランティアとしての指導を想定されているか、ご教示いただけますでしょうか。	指導体制として、講師およびアシスタントが指導します。 講師およびアシスタントに関する報酬については、募集要項 2（3）事業規模（契約上限額）の範囲内において、受注者の企画提案の内容に含まれます。アシスタントには言語的な補助ができる者が望ましいです。
3	・仕様書 3 ページ（2）イ「指導体制」について 昨年度と今年度の、講師およびアシスタント配置人数実績をご教示いただけますでしょうか。	現状のプレクラスでの指導体制につきましては、1 クラスについて日本語指導員 2 名によるチームティーチングで授業を行っています。また、授業内容（別添：本市の10日間カリキュラムに◎で記載されている時間）によって、母語支援員（通訳者）が言語の支援として参加しています。 参加する生徒の数（約10名以上）や状況によって、日本語指導員が 3 名になることがあります。また、母語が違う生徒の場合は母語支援員が複数となります。
4	N4レベル到達に向けた目標基準と学習時間について 事業説明会にて「75コマでJLPT N4相当」という目標設定のご提示がありました。一般的に、未学習の状態からN4レベルに到達するには「300～400時間程度（1日4時間学習で3～4ヶ月相当）」の累計学習時間が必要とされています。また、漢字については「約300字」の習得が目安となります。本事業のカリキュラム設計において、以下の2点について認識に相違ないかご教示ください。 ① 漢字圏・非漢字圏の生徒を問わず、「漢字300字」を共通の到達基準として設定してよいか。 ② 限られたコマ数（75コマ）の中で、上記の標準的な学習時間・習得量と照らし合わせ、どの程度の定着度を求めているか。	事業説明会にて「75コマでJLPT N4相当」という目標設定のご提示がありましたとのことですが、「令和 8 年度プレクラスカリキュラムの開発および実施」における75コマの学習カリキュラムでは、N4の目標設定はしていません。 ①、②については、仕様書の5（1）イ開発内容 カリキュラムをご確認ください。
5	カリキュラム開発における参照教材の範囲について カリキュラムを作成する際、参照・活用する教材の範囲についてご教示ください。弊社が独自に開発した教材のほか、市販のテキスト、あるいは国や公的団体が提供しているフリー教材等を活用・引用することは可能でしょうか。	仕様書 5（1）エその他に記載のとおり、業務の成果物の著作権は、大阪市に帰属するものとしています。そのため、上記の内容が可能な教材を活用してください。